

# ノリ養殖環境速報 KH-01-08 (播磨灘)

令和2年1月17日 発行

調査年月日：令和2年1月16日

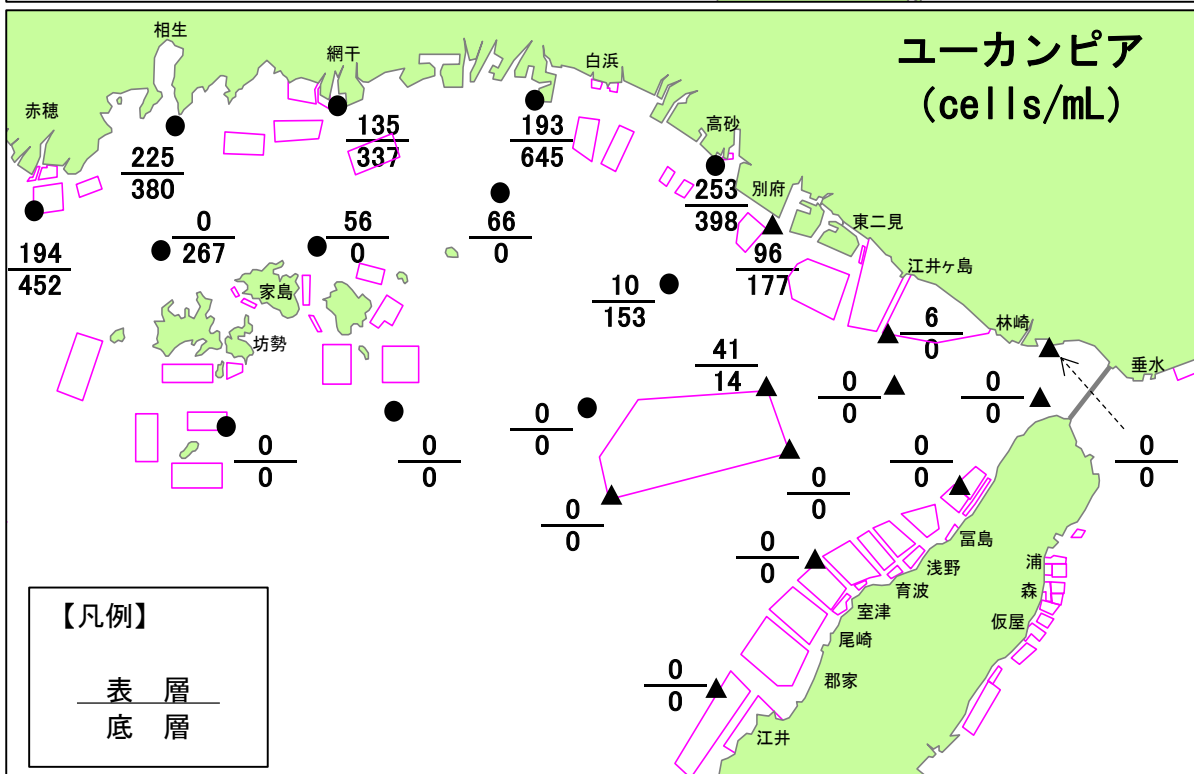
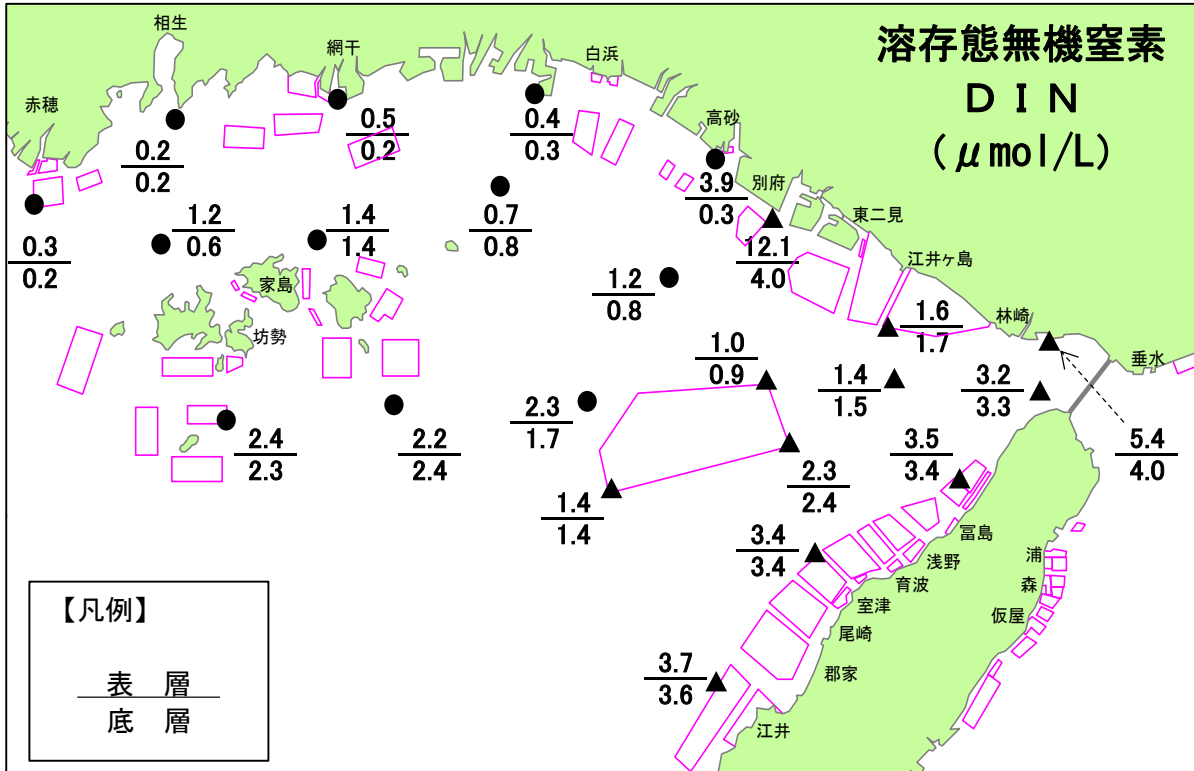
[調査箇所は地図上に●(西部)および▲(東部)印で表示しています。]

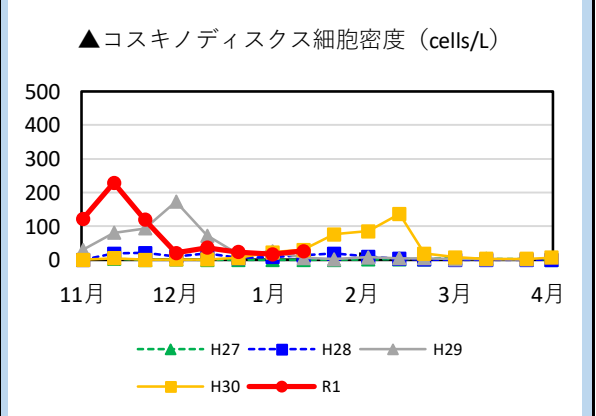
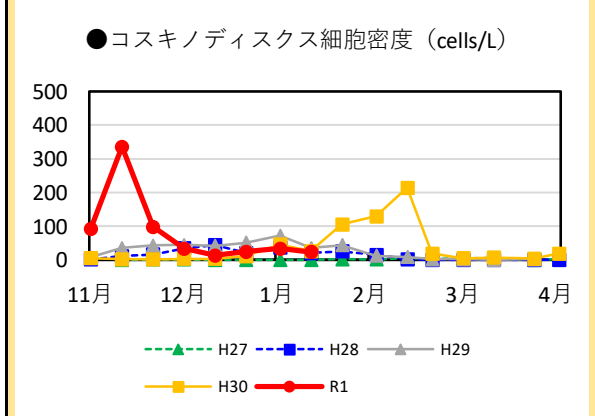
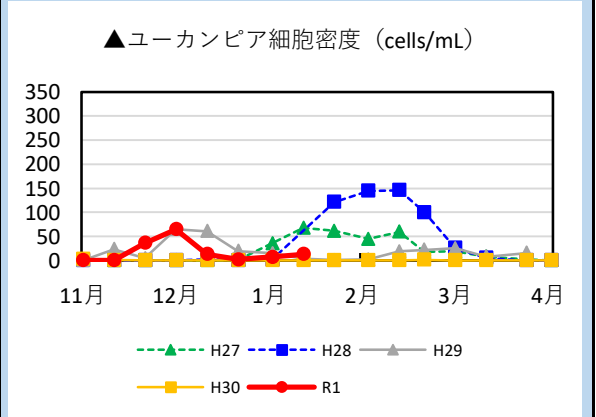
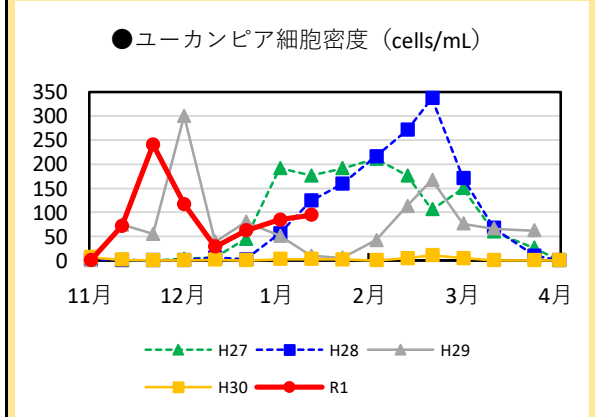
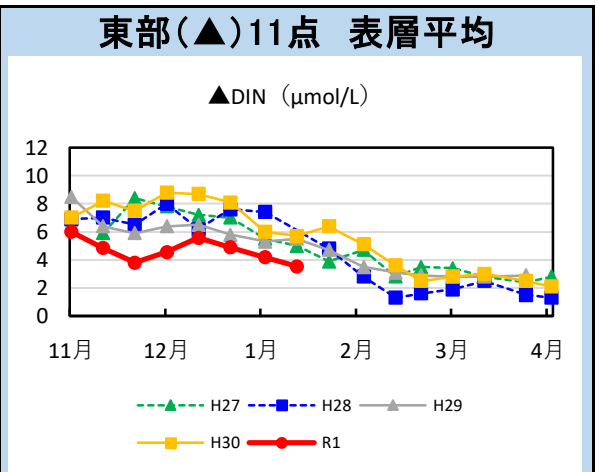
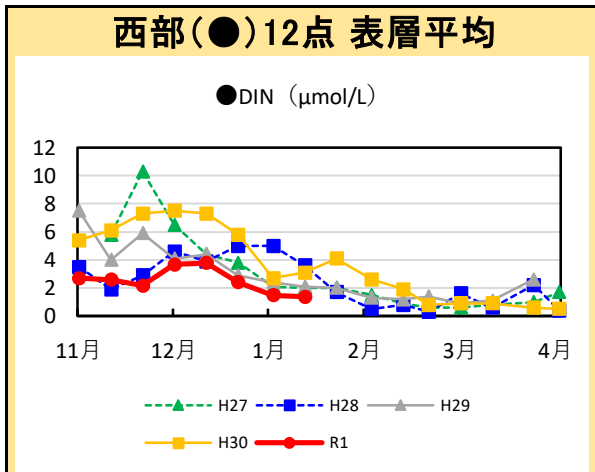
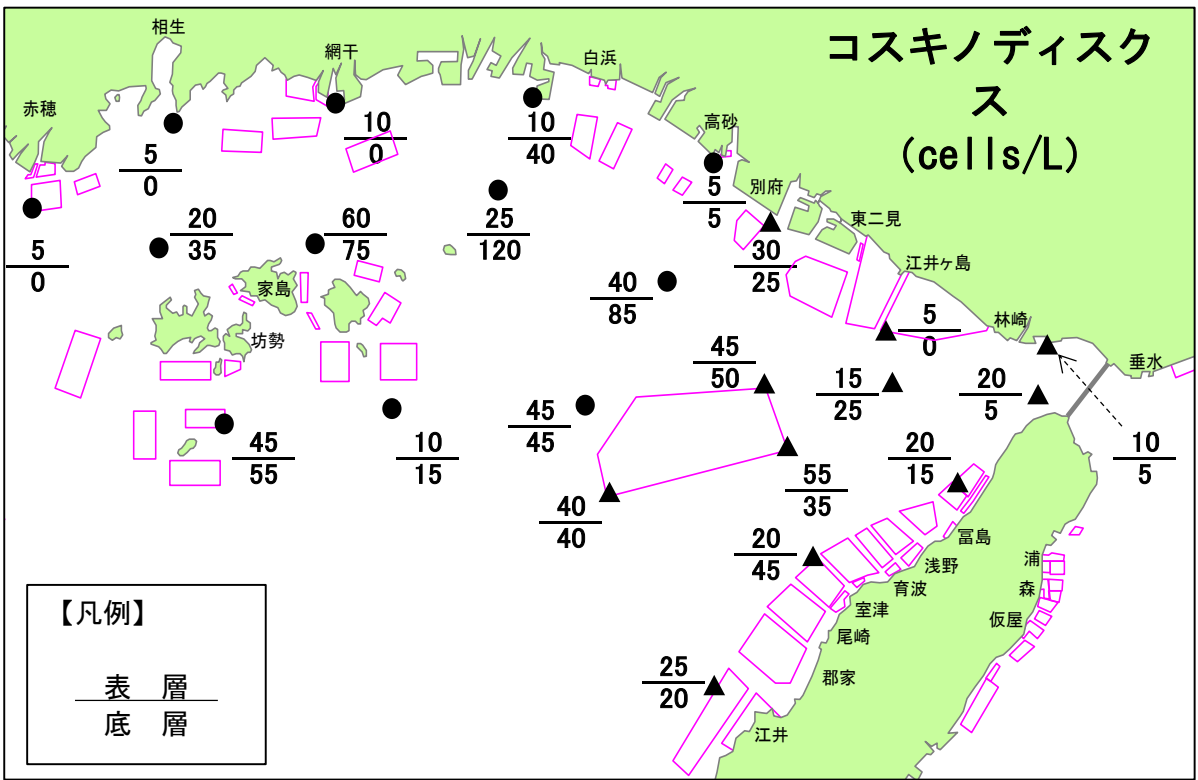
## 概況

播磨灘北部(調査海域)の表層DIN濃度は、西部では0.2~3.9 $\mu\text{mol/L}$ 、東部では1.0~12.1 $\mu\text{mol/L}$ で推移しています。白浜から赤穂にかけての沿岸部では0.5 $\mu\text{mol/L}$ 以下と、前回同様とても低い値になっています。

西部沿岸域で大型珪藻のユーカンピアが多く発生しています。今後の動向にご注意下さい。

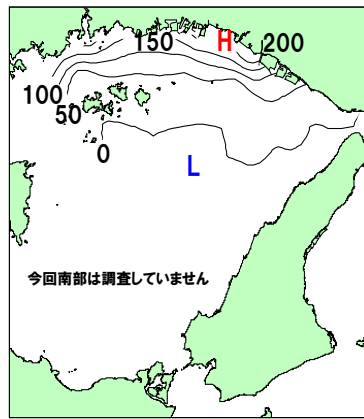
水温は、白浜以西では10.3~12.5 $^{\circ}\text{C}$ 、家島諸島周辺では11.7~12.9 $^{\circ}\text{C}$ 、江井ヶ島・高砂周辺で11.0~12.1 $^{\circ}\text{C}$ 、明石海峡付近並びに西浦では12.7~12.9 $^{\circ}\text{C}$ 、鹿ノ瀬周辺では11.8~12.7 $^{\circ}\text{C}$ でした。



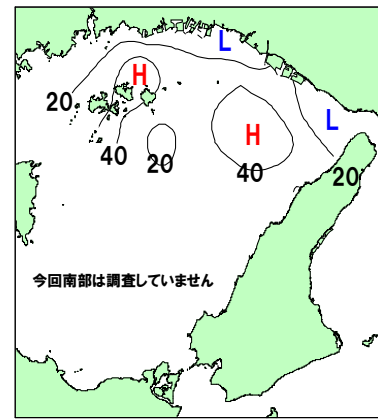




DIN濃度 (μmol/L)



ユーカンピア (cells/mL)



コスキノディスクス (cells/L)

### 令和2年1月16日の水平分布状況(表層、実測値)

(Hは濃度又は密度が高く、Lは低いことを示しています。)

#### 播磨灘における今後の栄養塩等に関する動向見込み

表層のDIN濃度は、全体的に前回よりも低下しており、播磨灘の東側から沖合にかけて高く、西部沿岸で低い結果でした。なお、この時期は降雨等により一時的に栄養塩濃度が回復する場合がありますが、例年通り日が進むにつれて徐々に低下していく見込みです。

また、北西部海域で大型珪藻のユーカンピアが発生しています。北西風等によりユーカンピアの分布が沖合や東部海域へ拡がり、播磨灘の広い範囲で栄養塩低下を引き起こす可能性もありますので、今後の気象にご注意下さい。

コスキノディスクス・ワイレシーは沖合部を中心に残存するものの、細胞数は少ない状況です。

#### 週間天気予報 気象庁1月16日16時32分発表 ※気象庁ホームページより転載

向こう一週間の近畿地方は、北部では、気圧の谷や寒気の影響で雲が広がりやすく、明後日(18日)にかけて雨や雪が降る見込みです。中部や南部では、高気圧に覆われて晴れる日もありますが、低気圧や湿った空気の影響で雲が広がりやすく、明日(17日)は雨の降る所があるでしょう。

最高気温は、期間の中頃にかけて平年並か平年より高く、終わりは平年よりかなり高い見込みです。最低気温は、平年より高く、期間の終わりは平年よりかなり高い日があるでしょう。降水量は、平年並か平年より少ない見込みです。

#### その他の情報

- 岡山県の情報は1/16に、香川県の情報は1/14に更新されています。
- 他県の調査については、以下のURLから参照してください。

岡山県：<http://www.pref.okayama.jp/page/579394.html>

香川県：<https://www.pref.kagawa.lg.jp/suisanshiken/jyouhou.htm>

【参考】栄養塩の単位：μmol/L = μg-at/L = μM

#### 【今後の予定】

- 令和2年4月上旬まで毎月3回程度(上・中・下旬)の発行を予定しています。
- 次回は令和2年1月28日頃に発行する予定です。
- ※この情報は、水産技術センターホームページ(<http://www.hyogo-suigi.jp/>)でもご覧いただけます。